

授業科目名

基礎情報処理 E

Course Title

COMPUTER LITERACY E

サブタイトル(任意)

パソコンの基礎・基本

担当者名

佐藤夏月

授業コード/Registration Code

134015305

開講キャンパス/Campus

西生田キャンパス

開講年度学期/Academic Year, Semester

2020 年度前期

開講期・授業区分/Class Category

週間授業

単位数/Credits

2.0 単位

年次/Year

1 年

ナンバリング/Course Numbering

POI-D4-4-1-01-2

授業の概要/Course Summary

できるだけ多くの学生の皆さんが、学業や就職活動、将来の社会生活に必須の情報関連の知識と技能、情報活用能力を学べるよう、今年度も1年次の全学生の履修を推奨する。また、2021年4月より、全学年が目白キャンパスへ一斉移転することに伴い、カリキュラムの変更が予想されるため、この授業の履修を希望する2年次以上の学生も、今年度履修することが望ましい。

授業では、まず、情報処理の基礎知識とインターネット社会を安全に生きるための Web やメールの活用法および情報倫理とセキュリティ、学業や将来の社会生活に必要な文書作成・表現技能の基本を習得する。

次に、データサイエンスについて理解するために、表計算ツールを活用して、各種データの収集、効果的な集計・分析と結果を読み取るための統計の基礎、グラフ化など適切な表現について実習主体で学修する。

さらに、昨今の情報化社会の進展に対応するため、小型ロボットを用いた初歩的なプログラミングの体験を通して、人工知能(Artificial Intelligence, A.I.)とは何かについて触れる。

以上を通して、現実場面で情報のより良い表現・伝達に有効な情報技術およびデータを適切に分析・活用する力、問題解決力を身に着けるとともに、最新トピックスであるデータサイエンスおよび人工知能について理解を着実に深めてほしい。また、在学中に、情報関連の資格試験(MOS 試験、IT パスポート試験など)に、ぜひ、チャレンジしてほしい。

なお、授業実施教室のコンピューター演習室1は PC の台数(45 台)が限られており、前後期 14 科目とも、前期授業開始前の所定の期間に方法で履修希望の曜日時限の申込作業が必要である。詳細は、履修ガイダンス時に配布される

「履修のしかた」のプリント、学務課掲示板、および情報関連授業の Web <http://mcn-www.jwu.ac.jp/~info-edu/> などに掲載されている内容をよく読んで確認すること。

授業の方法/Course Approaches or Methods

自宅学習主体の遠隔型の授業のため、主に、manaba という Web 上でアクセスする LMS(学習管理システム Learning Management System)を活用します。初心者のみなさんでも分かり易いよう状況を見ながら丁寧に説明したり質問対応しながら授業を進めていきます。まず、manaba が使えるパソコンおよびネット環境を整えてください。必要があれば、オンラインで利用できる他のシステムも活用しますが、その場合は授業の中で方法などを説明します。

学位授与方針との関係/Relations with Diploma Policy

大学 DP3

授業の到達目標/Course Goals

- (1)情報機器(ハードウェア)およびソフトウェアの仕組み、情報処理の基礎概念を説明できる。
- (2)文書の作成・編集法を習得し、レポートやポスターなどの文書を円滑により良く作成できる。
- (3)インターネットの特性や情報倫理、セキュリティについて理解し、安全に効率よく情報検索や情報発信を実行できる。
- (4)表計算ツールを活用して、適切にデータの収集・分析、グラフ作成、データベース操作が実行できる。
- (5)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方と問題解決力を身に着ける。
- (6)情報化社会の進展に対応し、データサイエンスや人工知能などの基本概念について説明できる。

授業計画(半期 14 項目、通年 28 項目 回数毎の内容含む)/Course Plan

・「授業の方法」にあるように manaba を活用して遠隔型で授業を進めます。
・ここにある授業計画は、当初の対面型を想定して立てた計画です。今回、この計画に変更が生じる可能性があります
が、manaba 上で、その都度、伝達します。

- 1.大学の情報環境の理解と機器の基本操作、ネットの活用(Web、メール)と情報倫理、セキュリティ
- 2.文書作成の基礎(1)-レイアウトの設定、編集と整形、自己アピール文作成-
- 3.文書作成の基礎(2)-図表の挿入、イベント企画と告知文(ポスター)作成-
- 4.文書作成の応用-総合課題、学業に役立つレポート作成-
- 5.情報科学基礎-コンピューターによる情報処理、ハードウェアとソフトウェア-
- 6.表計算の基本(1)-表の作成・編集とグラフ作成、計算式と基本的な関数(SUM,AVERAGE)-
- 7.表計算の基本(2)-式のコピーと相対・絶対セル番地参照、よく使う関数①(IF, RANK.EQ, COUNTIF)-
- 8.表計算の基本(3)-よく使う関数②(VLOOKUP, SUMIF、文字列関数など)-
- 9.データサイエンス入門(1)-データサイエンスとは何か?データの収集と統計処理-
- 10.データサイエンス入門(2)-表計算を活用したデータの分析・表現-
- 11.データサイエンス入門(3)-データベースの活用、並べ替え・抽出-
- 12.人工知能とは何か?-ロボホンによるプログラミング体験を通して考える①-
- 13.人工知能とは何か?-ロボホンによるプログラミング体験を通して考える②-
- 14.まとめ

※なお、この科目は前期 8 クラス(A-H)、後期 6 クラス(I-N)の計 14 コマ開講しているが、内容は同一である。ただし、課題と配布教材、指導の順序は、担当教員によって、多少異なる場合がある。

成績評価の方法/Methods of Evaluation

演習課題の提出・実施状況、小テストや実技課題、レポートの得点などで総合的に評価し、全体の 60%以上達成を合格ラインとする。

授業外学修(準備・事後学習等に必要な時間・具体的な内容)/Prep&Review

準備学修としては、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解すること。また、事後学修としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出すること。また、タッチタイピングの速度が1分間で日本語文字 100 文字以下の人は練習ソフトで練習すること。

使用テキスト/Text to be used

(1)教科書「30 時間アカデミック 情報リテラシー Office2016」実教出版 1,238 円＋税

※生協で購入すること。

(2)随時配布する教材プリント

(3)情報関連授業専用 Web <http://mcn-www.jwu.ac.jp/~info-edu/> と各担当者別 Web

参考書(参考資料等)/Reference Books

授業中に、適宜、紹介する。

その他(受講生への要望)/Notes, Message to Students

【履修のしかた】 ▲重要▲ 履修希望者は、下記をよく読むこと。

この科目は、前期 8 コマ(遠隔型授業)、後期 6 コマ(対面型授業を予定)とも、履修方法は、4 月 13 日(月)より、JASMINE-Navi か各学科の manaba のオリエンテーション・ガイダンスの画面の「履修のしかた」の資料をよく読み、希望する曜日時限を選択して、所定の履修登録期間に、必ず履修登録してください。なお、2 年生以上のみなさんは、以上のように、昨年度までと方法が異なりますので、注意してください。

なお、みなさんが履修登録した後、履修希望者が定員(46 名)を超えたクラスは、2 年生以上を優先して抽選により履修者を決定します。なお、この時点で履修に漏れた場合は、その後の履修登録訂正期間で、空きクラスに再登録することができます。

以上について、履修のしかたの詳細および履修許可者の決定などについては、すべて学務課から伝達される情報やお知らせをよく確認し、間違いの無いようにしてください。

学位授与方針(※参照用)/Diploma Policy

共通科目(学科科目以外)

https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000ayo-att/syllabus_DP_code_unv.pdf

学科科目(各学科カリキュラム・ツリーより参照してください)

<https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/curriculum.html>

大学院

https://unv.jwu.ac.jp/unv/about/information/ilcp490000000b0m-att/syllabus_DP_code_grd.pdf

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表(※参照用)

「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表

https://unv.jwu.ac.jp/unv/academics/curriculum/ilcp4900000082x1-att/kyoin_kamoku.pdf

授業形態の種類 ※必須

B